

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立植田小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立植田小学校 5年生 93名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックの話の聞いたり、ニュースポーツを体験したりすることでスポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	1 総合的な学習の時間 (5 学年) 【講話】 10:30~11:15 (体育館) 「オリンピックとスポーツの楽しさ」 「夢や目標を実現するために」 講師：佐藤 真有 様 オリンピックや陸上競技の体験談等を通して、オリンピックに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツの楽しさ、生涯スポーツへの関心・意欲を高める話をいただいた。 また、オリンピック出場という夢を実現したオリンピックの話の聞くことにより、夢や目標をもつこと、それらを達成するための努力の大切さについて話もいただいた。



【実技】 11:25~12:10 (校庭)

「速く走るために」

講話のあと、場所を校庭に移し、実技「速く走るために」を実施した。「速く走る」ための基礎基本を講師の先生から教えていただいた。

子ども達は、教えていただいた「体の動かし方」を実践しながら、実際に校庭を走り、速く走るコツを実感することができた。来年度の陸上大会に向けての意欲付けにもなった。



2 総合的な学習の時間 (6 学年)

単元「共に生きる」で、ボッチャなどニュースポーツを体験した。そこから体の不自由な人々の生活や、障がい者スポーツやパラリンピックについて調べた。

パラリンピックの競技やその歴史を知ることができ、障がい者への理解と、パラリンピックスポーツが、障がいがある人もない人も、楽しめるスポーツであることにも気づくことができた。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックや陸上競技の体験談等を通して、オリンピックに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツの楽しさ、生涯スポーツへの関心・意欲も高められた。 ○ ニューススポーツ体験やコンピュータによる調べ活動を通して、パラリンピックスポーツへの理解が深まり、パラリンピックに対する興味・関心が高まった。 ○ 2021年東京オリンピック・パラリンピックに対する児童の興味・関心や気運を盛り上げることができた。 ○ 夢や目標をもつこと、それらを達成するための努力の大切さについて話をいただいたことにより、なりたい自分を目指す自己実現を図る心の育成に結びついた。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講話の内容については、5学年担任と打合せをして、子ども達の関心・意欲向上につながる演目をこちらからお願いした。 ○ 講話だけでなく体験活動ができるように、実技を取り入れた。また、体験を十分できるように時間を確保した。 ○ パラリンピックスポーツへの理解を深めるために、実際にポッチャを体験した。その他にも、アキュラシー、輪投げ、スラックレールなどニューススポーツを体験できるようにした。その際の外部講師は「学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業」を活用し招聘した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の活動をこれで終わりにするのではなく、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高め、スポーツの楽しさ、生涯スポーツへの関心・意欲を高める学習活動に広げたい。 ○ 講師の人材選定や講演料など、自校のみで行うのは難しい。学習のねらいにあった適切な講師をコーディネートしてくれる窓口が必要である。 ○ コロナウイルス感染拡大防止策を十分に講じて上で実施した。実施内容や外部講師選定など配慮が必要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピック教育を、他教科と関連させ、年間計画に位置づけ、あらたな時間を設けずとも、無理なく実施できるようにする。</p> <p>パラリンピックスポーツへの理解を深めるため、ニューススポーツの外部講師依頼には「学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業」を活用していきたい。</p> <p>2021年東京オリンピックに対する児童の興味・関心や気運を盛り上げる全校的な取組を行いたい。</p>